

令和 7 年度 第 1 回いの町子ども・子育て会議議事録

1. 日時 令和 7 年 10 月 7 日(火)19:00～

2. 場所 いの町役場 本庁舎 1 階 いのホール

3. 出席者

委員：石川正康、岡林沙織、倉繁迪、上妻智子、坂本美佐、坂本弥生、中野登志子、日向國雄、宮田幸子、山崎水南実、吉松美奈子

(欠席者 井上美佐子、小泉清人、西内景介)

事務局：教育委員会 黒瀬教育長、宮脇教育次長、澁谷次長補佐、小田幼保支援係長、幼保支援係 谷本、
本川教育事務所 山中所長

傍聴者：1名

事務局：ただいまより、令和 7 年度 第 1 回いの町子ども子育て会議を開催いたします。本日はお忙しい中、お集りいただきましてありがとうございます。私は教育委員会事務局の小田と申します。議事に入るまでの間、進行させていただきます。よろしくお願いいたします。いの町子ども子育て会議設置条例第 6 条第 2 項により、委員過半数が出席し会議が成立となります。本日は委員 14 名中 10 名出席しているため会議は成立しています。傍聴される方が 1 名いらっしゃいますが、許可してよろしいでしょうか？ありがとうございます。傍聴は許可されました。傍聴の方につきましては、会議終了後に資料を回収させていただきますのでご了承ください。初めに、令和 7 年度第 1 回いの町子ども子育て会議の開催にあたりまして、黒瀬教育長よりご挨拶を申し上げます。

黒瀬教育長：皆さん、こんばんは。ご紹介いただきました黒瀬でございます。本日は夜分、大変お忙しい中、令和 7 年度第 1 回いの町子ども子育て会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、近年出生数の急激な減少により少子高齢化がますます深刻化し、本町においても、就学前の園児数が年々減少している状況になってございます。一方で、就労を希望される保護者の増加に伴い、子どもたちを取り巻く環境や、家庭が就学前教育に求めるものも多種多様となってきております。そのような中で、公立幼稚園であります伊野幼稚園では、園児数が年々減少傾向で推移するなど、町全体として就学前教育のあり方を検討する時期になっております。

現在、就学前の園児や生産年齢人口の減少、また、高齢化率の高まりなど、自治体として財源確保がますます重要な時代となっております。加えて今後、幼児教育保育の質を確保し、次世代を担う人材を育成するこ

とが求められています。こういった時代の変化に対応するため、教育委員会としましては、保育施設の再編整備計画を策定し、幼児教育保育施設の充実を図りたいと考えております。

計画策定に当たりましては、まずは保育施設を利用されております保護者からご意見をいただくためアンケート調査を行ってまいります。また、本会議では、計画の骨子や計画案等のご承認をいただくため、本年度全4回の会議の開催を予定しております。本日は第1回目の会議となりますが、計画の策定についての忌憚のないご意見をいただきながら、またアンケート内容についても、それぞれの立場から様々なご意見を頂戴してご審議をいただきたいというふうに考えております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局: それではお手元の資料の確認をお願いいたします。令和7年度第1回いの町子ども子育て会議次第、資料①いの町修学前教育保育施設再編整備計画(概要案)、資料②保育施設利用者アンケートのお願い、全て揃っていますでしょうか? ありがとうございます。それではこれよりの議事進行は宮田会長をお願いいたします。

宮田会長: はい。それでは、議事次第により会議を進めたいと思います。議事次第1、保育施設利用者のアンケート調査の実施について事務局からお願いいたします。

事務局: はい。どうもお世話になっております、教育委員会の教育次長の宮脇でございます。どうぞよろしくお願いいたします。まず、私の方から説明の方をさせていただきたいと思います。委員の皆様にはですね、毎年年に1回お集まりいただきまして、子ども子育て支援事業計画のご審議をいただいておりますけれども、この会議のその上の法律ですね、子ども子育て支援法の中の子ども子育て会議の委員の役割としましてですね。子ども子育て支援に関する施策の推進に関して必要な事項や施策を調査審議するという役割がございます。先ほど、教育長の挨拶でもお伝えさせていただきました通り、町ではですね、保育施設の再編整備計画というのをですね、策定していきたいというふうに考えておりまして、本日お集まりいただきまして、ご審議いただきご意見等を頂戴したいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

まず、議事1の保育施設利用者へのアンケート調査の実施についてということでございますけれども、先ほど申しましたように、再編整備計画に繋がるアンケートにしたいと思っております。ですので、そのアンケート調査の内容のご説明の前にですね、再編整備計画の概要といいますかですね、こういうことを考えている案として考えているといったところを少しご説明の方をさせていただきたいと思います。

先ほど教育長の挨拶にもありましたけれども、計画策定までのまずそのスケジュールでございますけれども、本日を含めて4回の子ども子育て会議を開催してご審議をいただきたい、ご意見を頂戴したいと思っております。具体的にはですね2回目は令和8年の2月、それから3回目は8年の5月、年度かわりますけれども、4回目は令和8年の7月に開催を予定しておりまして、8年の8月の真ん中ごろですかね、

目処に目標に計画の策定を目指していきたいというふうに考えております。それでは保育施設の再編整備計画についてちょっと概要を説明させていただきたいと思います。あくまでも案でございますけれども。

お手元の資料①ですね、よろしくお願いします。ご覧のようにですね、あの3つの章ですね1章から3章まで構成をしようと考えております。まず第1章でございますけれども、こちらはまず計画の策定にあたって、というような項目を立てさせていただいております。計画策定の趣旨ですね。将来にわたりまして、持続可能な教育保育サービスの提とも体制を構築するために、適切な施設の数ですね、施設数や定員規模を検討する施設の再編計画を策定するといったような内容になってくると思います。次2番の再編整備の基本的な考え方としましては、適正な施設規模を確保する、安全安心な施設環境を確保するといった基本的な考え方をこちらの方では書いていきたいというふうに考えています。その3番の計画の位置づけでございますけれども、こちらのいの町にはいろんな計画がございますけれども、いの町の一番上にある計画はいの町振興計画という計画がございますけれども、計画などとその関連性とかですね、位置づけというところも書いていきたいというふうに考えております。計画の次4番の期間でございますけれども、これは基本的には10年。これから10年のうちに、これを考えていきたいという形で計画を考えています。5番の再編施設の対象施設ということでございますけれども、こちらはですね公立の幼稚園、保育園、認定こども園についてその全てについて対象としていきたいというふうに考えています。それがまず第1章です。

それから次第2章に移りまして、こちらはいの町の現状と課題といったところで、一番から9番までの人口の推移からですね施設の老朽化、いつ建てたかっていうそういったデータ等をですね、こちらでお示ししようかなというふうに考えています。

それから第3章の就学前教育保育施設の再編整備計画というところで、ここがですね計画の中心になってくるところでございます。まず、とりあえず二つの項目をあげておりますけれども、課題解決に向けた目指すべき方向性といったところ再編整備計画において、こういった方向性を目指すのかということを明示したいと考えております。例えばですけども、アンケート調査に対してこういった保育体制を推進していくのか、あるいは現在も進められているICTですね。ICTを今後どう取り入れていくのか、そういった方向性を示したいと考えています。それから、特にこの2番の方ですね。公立保育施設の再編、こちらにおいてはですね、そこに書いてあります8つの園ですね。園につきまして、例えばですけども、維持していくとか例えば統合を検討するとか、そういったこれから10年間のその方向性を示したいというふうに考えております。

こちらが簡単に説明させていただきましたけれども、計画の概要でございます。これから詰めていく話になりますけれども、こういったその計画を策定するにあたりまして、保育施設を利用するその保護者の皆様のご意見をいただくためのアンケートを実施したいと考えております。

それで、アンケート調査について説明をさせていただきますけれども資料の②でございます。ご覧いただけたらと思います。設問としましてはこれから協議をいただきまして、変更等あると思いますけれども、とりあえず10問と、今のところしております。中ほどぐらいからですかね、設問1といったところで、お子様の年齢ですとか、まず利用している保育施設の名称を設問2。設問3で、現在の保育施設に満足していますかといったようなところ。それから設問4では特に満足している点はどこですかといったところをお聞きしたい

など。それから 5 では改善して欲しい点というところを自由記述なんかを使ってですね。お聞きしたいと思っています。それから設問 6 あたりから、少し重要な設問に入りたいなど。保育施設の例えば統廃合についてどう思いますかといったところ。それから、統廃合その理由についてはなんですかといったところ。あるいはその設問 7 に関しましては、例えばその民営化というようなところもあるかもしれません。民営化についてどう思いますか。賛成反対とかあると思いますが、その理由は何ですかといったところも聞けたらなと思っています。それから設問 8 では、例えば公立の園が民営化が行われた場合、他の施設への転園を希望しますかとか、あるいは設問 9 では保育施設を選定するにあたって重要視することはなんですかというような質問。それから最後にご意見ご要望があればご自由にお書きください。といったのが、以上が事務局のアンケート案でございます。

再編整備計画の概要についてのご質問ですとか、またアンケート調査についてのこういった設問も、例えば必要ではないかとか、そういったご意見等ございましたらお願いしたいと思います。以上でございます。

宮田会長：はい。事務局の方からアンケート内容についてのご説明がありましたが、説明設問 1 から 10 までの間、もう少し入れたい設問というか、あれば提案していただきたいと思いますが、いかがでしょう。ちょっと時間あった方がいいですか。はい。わかりました。

中野委員：選定するにあたって重要視することとちょっとかぶるかもしれないんですけど、その自宅から園までのどのくらい所要時間がかかるかとか例えばそれが自家用車なのか、自転車なのかとかっていう交通手段を聞いた方がいいと思います。もし統廃合するとなると、例えばちょっと遠くのところから園に行ったりするとなると、やっぱりそこに来るとか渋滞だったりとか、そういうこともちょっと考えられるんじゃないかなと思うのでやっぱり毎日送り迎えすることなので、ちょっと時間のことはちょっと入れてた方がいいかなと思います。

宮田会長：はい。その他何かございませんか。

倉繁委員：民営化についてどう思ってますかっていう設問ですけども、具体的に民営化したらどういうことになるのかっていうことが多分言葉だけで民営化って言われても、例えば保育料がどうなるか、給食がどうなるかとか、そういう、どれぐらいの保育をしていただけるのかというもう少し具体的に民営化したら、こういうふうになりますという全てはまだ無理だと思いますけどガイドラインぐらいはしないと、民営化ということの意味するところが多分わかりにくいんじゃないかなと思いますけど。

岡林委員：今の、民営化についてどう思いますか。確かにメリットとデメリットがわからないので具体的にメリットがどう、デメリットがどう、があれば助かるなと思いました。

宮田会長：他にはございませんか。日向先生いかがでしょう。

日向委員：特にないんですが、はい。保育料というのはね、町が決めて公立も私立も一緒に、あとはこうね徴収してるんで、それは問題ないという思うわけですけども、やっぱりその希望する園に行けないケースもあるわけ。余儀なくされる、施設に保育をお願いするという場合には、当然交通時間もかかるということもあるのでありましょうし、いろんなことを聞かれた方がいいかなという風に思いますね。各園のそれぞれの保護者さんのご意見をお聞きするので、十分に出てくるのではないかなと思います。

ただあの幼児教育の園に対するアンケートもあるわけですからね。それと回答がダブるかなとか、あるいはそれはこの質問はやめておいてこれ一本にするとかですね。保護者にはすごく負担になると思うんですね書かないかんことが多いので。だからその点をどうするかというようなことも検討しておかないかな、いうふうに思ってます。以上です。

宮田会長：日向先生の言われたようにこのアンケートを実施するとすれば、計画的なところはできていますか。いつ頃ぐらいに出していつ頃ぐらいに回収してっていうところは。

澁谷補佐：今日いただいた意見をまとめてアンケートを作成して大体 11 月頃に実施できたらと思います。

宮田会長：わかりました。

石川委員：意見ではございません。感想です。これ園ごとの名前が入ってるわけですから、クロス集計になると思います。園ごとに傾向が出てくるんだけど、母数がかなり違いますよね。それをどういうふうに比較するのかな、比較をするのかしないのかわかりませんが、集計かなり苦労されるのではないかという気がいたしました。以上です。

宮田会長：この集計についてはどんな形でやる予定にしていますか。はい、どうぞ。

澁谷補佐:回答方法についてはオンラインでの回答を予定しておりますので、集計も自動でと言いますか、出来るようになります。クロス集計をどうするかというところを、また検討したいと思います。

宮田会長:はい。11月の実施ということなので他にご意見ありましたら、ぜひ出して欲しい項目とかがないでしょうか?先生方の方はいかがでしょうか?大丈夫でしょうか?この内容・・。

倉繁委員:質問1のお子さん年齢を教えてくださいというのは1人だけの子もいれば3人いることもあると思いますけど全員書いてくださいということですかね。

宮脇次長:まだ決まってなくてですね。例えば一番上の子どもさんも書いてもらうとか、あるいは何人か複数で選べるように・・

倉繁委員:工夫というか何か説明があった方がいいですね。

宮脇次長:保護者からの回答としては一つ。一つというかそのアンケートとしては一つなんですけれど、そのところはちょっと考えさせてもらいます。はい。

中野委員:世帯によって今いの町内に別の園に通っているご兄弟さんはいないということですか。例えば、以前、私の子どもが小さいときあったのは3歳以上は伊野幼稚園で2歳さんは保育園の方もっていうパターンが珍しかったんですけど、なくはなかったんで今いの町内の子どもたちというかも兄弟はもうみんな同じ園に通って、いう状態・・じゃないんじゃないでしょうか?その場合はどういうふうにされます?

宮田会長:そこを考えないかも知れないですけど、園単位になるとすれば、2回答える・・

中野委員:そう、そうです。世帯で1個でっていうパターンと、あとこれちょっと私の我が家のちょっと教育方針というか考えてあれやったんですけど、子どもによってやっぱり兄弟でも個性違うじゃないですか。だからこの子にとってはこういうところを重視するこの子にとってはこういうところを重視するっていうのがこういう複数回答なんですけど、なんかやっぱそういうところも違って負担は増えるかもしれないけど、ちょっとその辺はどうなのかなってそこまでちょっと突っ込んでアンケート取るのもあれかなって思いながら

よっと児童ごとの方が保護者はちょっと負担にはなるかも知れないけど、やっぱり 0 歳児 1 歳児と 5 歳以上だと、やっぱりなんですか。その公立の統廃合とかもやっぱりちょっとやっぱり現実味がやっぱ変わってくると思いますし、結局年長さんとかアンケート取ったとしても小学校に入るじゃないですか。多分統廃合の前に。となってくるとやっぱりちょっと心の持ちようがちょっと変わってくるのではないかなと思います。

宮脇次長: ちょっと考えないと・・・おっしゃる通りですね。例えばもう 1 回だけの回答でいいやったらもうどの子どもさんかの分について答えてもらったらいいいですし、例えば 2 回答えて上の子と下の子と違うき 2 回答えたいやったら 2 回答えてもいいようにするとかですね。ちょっと方法を考えさせてください。

宮田会長: お知り合いの方でも、0 歳から 2 歳、3 歳まで公立の保育園に行かせて、あとは私立の幼稚園の方に行かすっていう人もおったりするので、あんまり何歳上とかじゃなくって、低学年 0 歳児から順番に取れるようにした方がいいのかなと思います。

宮田会長: だいが出ていろいろ意見が出たようですが、それ以外に何かこれはあるというのがありましたらまた、お願いしたいのですがいかがでしょうか？

それではだいが意見も出たようですので、あとは事務局さんの方でもう一度精査してもらって・・・

宮脇次長: 可能な限り反映させていただきたいと思いますがちょっと希望に沿えないところもあるかもしれませんが、ちょっとこちらの方ではいい。

宮田会長: そしたら次に議事の次第 2 その他について事務局からお願いいたします。

澁谷補佐: 先ほど次長の方から説明しました通り、次回の子ども子育て会議は、令和 8 年 2 月中旬を予定しております。次回の子ども子育て会議では、第 3 期子ども子育て支援事業計画の進捗状況の報告と、保育施設の再編整備計画の骨子を提示できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

宮田会長: はい。では事務局から説明がありましたそれが何かご質問等ありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか？はい。それでは第 1 回いの町子ども子育て会議を終了したいと思います。今日は皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。